

平成 25 年 8 月 20 日 00132 号

編集者:佐藤 寿 春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】NPO法人第3回理事会が開催されました！

8月19日(月)午後7時サンライフ北見において、特定非営利活動法人北見市武道振興協会の第3回理事会が開かれました。北見市武道館指定管理者に関する報告の他、先月終了した新規会員入会キャンペーン報告がなされ、武道館スタッフ募集や武道館管理運営に関する規約に関して審議・検討されました。また、北見市武道館開館記念講演や第18回北見市総合武道祭スケジュールについても検討され、例年と一味違う武道祭が計画されています。



【特集】佐藤芳玄先生に北見市武道館の完成をお知らせしたい！ ①

前北見市弓道会会長 故佐藤芳玄(よしはる)先生は平成6年11月北見市武道振興協議会発足当初から副会長として当会の運営に大変ご尽力をいただきました。当時、何かとご指導を頂いていた(財)北見市体育協会の宮井輝男専務理事より、「いい人に副会長になってもらったね～良かったね～」と言って頂いたことが強く印象に残っています。佐藤先生は、その言葉通りの方でした。一見、体格も小柄で物静かで控えめに見える先生でしたが、会の行事には常に参加してくれましたし、会議の席でも発言は少なめでいながらも要点は確りと押さえてくれました。発足当初、佐藤先生がさりげなく作成してくれていた議事録が会運営に重要な役割を果たしてくれました。また、武道館建設の要望書を市に提出する際にも必ず同行してくれました。唯一の行事であった北見市総合武道祭の開会宣言はいつも先生にお願いしました。先生は、その時々において、時には見守り、時にはその場を品高く盛り立ててくれたのです。②につづく



連載 中国「老子」の思想 十六章 根元に返る

自己意識を捨て去って、「静」そのものになりきることが大切である。

「静」とは何か。

万物はひとしく生々発展しているが、その運動は循環して、もとの現象以前の状態に戻る。草木は茂り栄えるが、やがてはみなその根に戻る。

この根元に返った状態を「静」という。

根元に返ることは自然必然の動きであるから、これを「命に復する」という。それは、宇宙を貫く「法則」である。

この法則を知ることが、「明知」である。この法則を知らなければ、私意の導くままに妄動し、よからぬ結果を招くのだ。

さて、この「法則」は普遍性を持つから、すべてを「包容」する。すべてを包容するものは、「公平無私」である。公平無私は、「王者」の徳だ。したがって、王者の徳は、「天」と一体である。天と一体であれば、「道」に合致する。「道」は永遠の存在であるから、「道」を体得した者は、生涯、無事でいられる。

原文:致虚極、守静篤。萬物並作、吾以觀其復。夫物芸芸、各復歸其根。歸根曰靜。是謂復命。復命曰常。知常曰明。不知常、妄作凶。知常容。容乃公。公乃王。王乃天。天乃道。道乃久。沒身不殆。十七章に続く